

美術工芸館 Newsletter

東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

Tohoku Fukushi University
Serizawa Keisuke Art and Craft Museum
ニュースレター 2021 年 12 月 Vol. 2

News
01

東京、静岡で魅力を発信

染色家・芹沢銈介の創り出す模様・デザインには人の目を惹きつける力があります。この秋、当館には 3 つの美術館から連続して作品の貸出依頼がありました。それぞれ企画テーマは違えど、芹沢作品の魅力が展覧会の趣旨を支えます。当館所蔵品も東京、静岡の展示において来館者の目を楽しませていました。

はじめは静岡市立芹沢銈介美術館。芹沢生誕の地である静岡にある美術館は“懐かしくも新しい日本”をテーマに、開館 40 周年を記念した特別展「芹沢銈介の日本」（会期 10/9 ～ 12/12）を開催しました。当館所蔵の代表作「漁船文着物」や、帯地・軸など 9 点を貸出しました。

続いて国内最大級のコレクションを持つ東京国立近代美術館。日常の生活道具に存在する美をローカルとモダンの視点で紹介する「民藝の 100 年」展（会期 10/26 ～ 2022.2/13 **開催中**）。

当館から芹沢の商業デザイン（包装紙やメニュー、看板など）を中心に 18 点を貸出し、他では見られない作品に注目が集まっています。



作品の状態確認をする双方の学芸員
（東京国立近代美術館への貸出風景）

年明けには仙台市内にある地底の森ミュージアムにおいて「石っている！」展（会期 2022.1/21 ～ 3/13 **予告**）に芹沢銈介が収集した「石製」のコレクションを貸出します。当館での展示だけでなく、所蔵品の貸出は、芹沢の魅力を広く発信する役割も担っています。

後期学内展示の見どころ

後期の学内展示では、3つの企画で芹沢の作品・コレクションを紹介。芹沢の「文字」に注目した作品や、樹皮布（タバ）コレクションを展示しています。樹皮布は、名前のとおり樹皮の繊維を叩き伸ばした不織布で、和紙のように軽くて丈夫。赤道周辺地域では、衣服やインテリアなど、暮らしに寄り添う布として重宝されていたようです。



芹沢銈介装幀・今東光著
『はぜくら』

さて、芹沢作品を愉しむポイントのひとつに、「文字」があります。仮名文字の“しなやかさ”や漢字の“力強さ”を巧みにひきだし、模様化された文字デザインは、「芹沢文字」と名付けたいくなるほど。今回の展示では、装幀（ブックデザイン）や着物、屏風、のれんを通して、その魅力をお楽しみいただけます。

Check

公式HPでは展示中の芹沢銈介装幀本『石器時代の日本』（芹沢長介著）について当館の芹沢恵子顧問によるエッセイを公開中。

ぜひご覧ください。



当館HP

後期学内展示（2021.10/6～2022.1/26）

- 1 「芹沢銈介 本の仕事」
- 2 「芹沢銈介が手がけた文字デザイン」
- 3 「タバクロスー樹から生まれた布ー」

リエゾンⅠ～Ⅳ等での
授業見学に限り予約受付中

東京国立近代美術館にて当館オリジナルグッズ販売中！



東京国立近代美術館で開催中の柳宗悦没後 60 年記念展「民藝の 100 年」（～ 2022.2/13）のミュージアムショップで当館オリジナルグッズを販売中です。人気商品はポストカード「アサヒビール包装紙試作」（1962 年デザイン）。リボン状のデザインが目を引きま ⑥⑥

スコットランド王立博物館の芹沢展バナー

2001 年に英国スコットランドの王立博物館にて開催した「芹沢銈介展：SERIZAWA—Master of Japanese Textile Design—」の展覧会バナー（のぼり旗）です。デザインのモチーフは芹沢文字の「花」。ポスターや図録の表紙にも使われました。

展覧会実現のきっかけは、元駐日英国大使であったヒュー・コータツィー卿の提案から始まりました。彼は日本文化のよき理解者として知られた人です。ヨーロッパでの芹沢展を望み、V&A 博物館の東洋部長を務めたジョー・アール氏を介して 1996 年に、当館館長だった芹沢長介氏に計画案が届けられました。それは 5 年後に実を結び、英国全土を挙げて多様な日本文化を紹介する「JAPAN 2001」事業の一環として組み込まれました。

展覧会場となった王立博物館（Royal Museum）は、エディンバラ城の眼下、オールドタウンにあります。およそ 160 年前に創建されたロマネスク・リヴァイヴァル様式の古色蒼然たる石造りの建物です。この年、

8 月 11 日～11 月 4 日までの約 3 か月間、博物館のメイン展示室に、芹沢の作品 158 点が展示され、見事に好評を博したのです。

▶ 「芹沢銈介展：SERIZAWA—Master of Japanese Textile Design—」の展覧会バナー（5F ロビーで展示中）

Serizawa
Master of Japanese
textile design



11 August -
4 November
2001

Admission
£3/£1.50

Topics 03

うぐいすもん 梅に鶯文のれん

梅と鶯の組合わせは、奈良時代の『懐風藻』や『万葉集』に詠われたことに始まり、日本独自に継承されてきた意匠のひとつです。梅は春の百花に先駆けて咲く吉祥（おめでたい）文様、また鶯は澄み切ったさえずりが春の訪れを知らせることから、春告げ鳥とも呼ばれています。慣れ親しまれて来たこの文様を、芹沢は濃紺と白ではっきりと力強く表現しました。



芹沢銈介作
「梅に鶯文のれん」
1960 年頃 木綿 型絵染

2022 年の東北福祉大学カレンダー
として構内に掲示されますよ

Info 01

仙台のミュージアムが大集合！

仙台の様々なミュージアムが集う「ミュージアムユニバース」が 2021 年 12 月 18 日（土）～26 日（日）までせんだいメディアテーク 1 階オープンスクエアにて開催されます。会期中 10 時～18 時（最終日 15 時）入場無料。

仙台・宮城ミュージアムアライアンス（SMMA）に参加する市内施設 17 館が 9 日間にわたり“すてき・ふしぎ・おもしろい”をテーマに「展示の広場」、「体験の広場」を盛り上げます。当館は「おうちワークショップ」の企画・取り組みを展示で紹介。各ミュージアムの魅力が詰まったイベントです。ぜひお立ち寄りください。



当館の取り組み「おうちで美術工芸館」は HP でも紹介中